

2017年  
11月

## 県内景況・確報

◎概況

県内景況は、拡大している

●2017年11月 おきぎん「カトレア」景況図●

## 県内景況



良い

個人消費



やや良い

建設関連



良い

観光関連



良い

生産動向



ふつう

企業倒産



やや良い

雇用状況



良い

11月の県内景況は、**個人消費関連**では、スーパー売上高は、全店ベース、既存店ベースともに食料品が伸び、前年同月を上回りました。百貨店売上高は食料品などが伸び、前年同月を上回りました。耐久消費財である家電卸出荷額は、冷蔵庫など白物家電が伸びず、前年同月を下回りました。新車販売台数は、軽乗用車などの需要増加により、前年同月を上回りました。

**建設関連**では、公共工事請負金額は、市町村ならびにその他の公共的団体発注工事の減少などで前年同月を下回りました。新設住宅着工戸数は、前年同月を上回りました。建設資材である生コン、セメントはともに前年同月を上回りました。

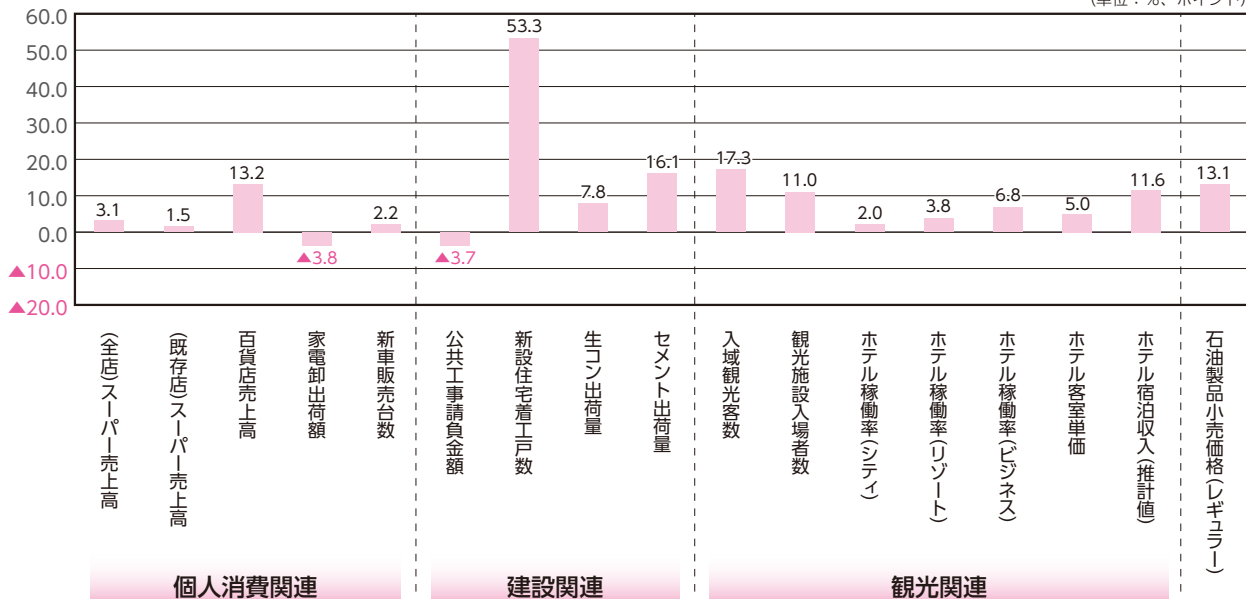
**観光関連**では、入域観光客数は62ヵ月連続で前年同月を上回り、観光施設入場者数も前年同月を上回りました。ホテル稼働率はシティホテル、リゾートホテル、ビジネスホテルのすべてで前年同月を上回りました。ホテル客室単価は前年同月を上回り、宿泊収入（推計値）も上回りました。

このような状況に鑑みて、個人消費や建設関連が概ね堅調であり、観光関連でも好調な動きが継続していることなどから「**県内景況は拡大している**」と景気判断を据え置きました。

(2014年2月の上方修正後から46ヵ月連続で判断維持)

主要景気指標前年同月比

(単位：％、ポイント)





## 個人消費



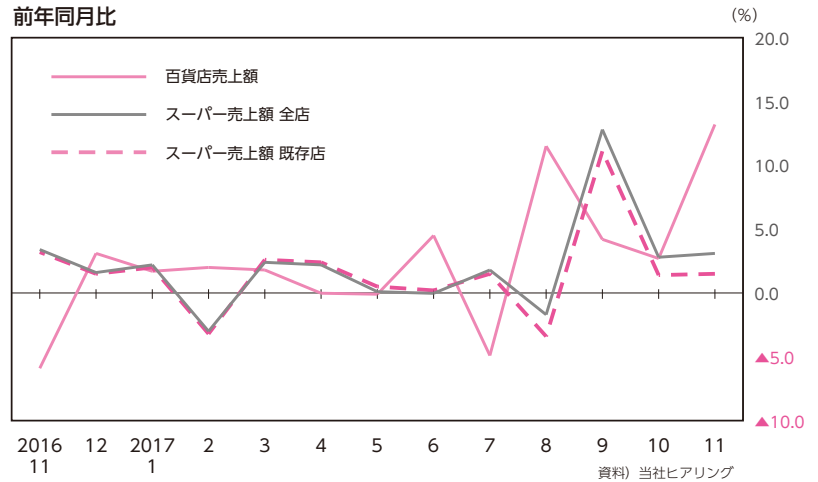
(やや良い)

### ① スーパー・百貨店売上高…スーパー売上高は全店ベース、既存店ベースともに前年同月を上回る。 百貨店売上高は前年同月を上回る。

11月の個人消費関連では、スーパー売上高「全店ベース（前年同月比3.1%増）」は、新規出店効果などにより、「食料品（同2.7%増）」「家庭用品（同4.7%増）」などの売上が伸び、前年同月を上回りました。「既存店ベース（同1.5%増）」は、3ヵ月連続で前年同月を上回りました。品目別では、ウエイトの高い「食料品（同1.1%増）」は、販促効果により精肉などの生鮮食品が好調だった

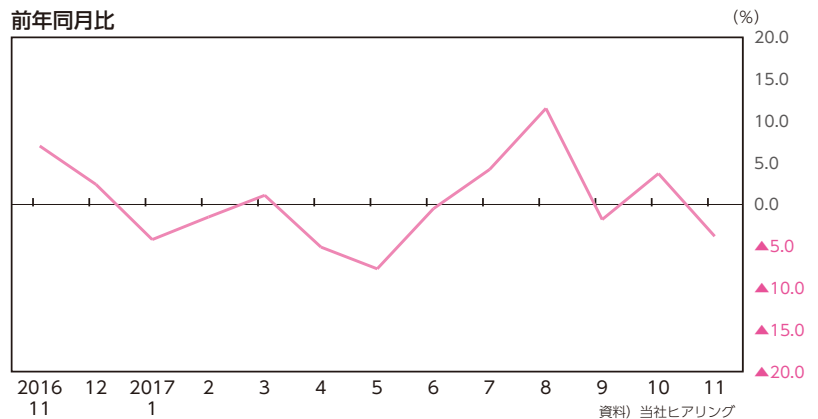
ことに加え、惣菜、日配品の売上が伸び、前年同月を上回りました。また「家庭用品（同2.8%増）」は、テレビや白物家電などの売上が堅調に推移したことに加え、寝具等の需要も増加し、前年同月を上回りました。「衣料品（同3.3%増）」は、紳士服、婦人服、子供服など冬物衣料品の売れ行きが伸び、前年同月を上回りました。

百貨店売上高は、周年企画の催事開催効果や、昨年比に比べ休日の日並びがよかったことなどにより集客が伸びたことから、4ヵ月連続で前年同月を上回りました（同13.2%増）。内訳をみると、ウエイトの高い「衣料品（同3.5%増）」は、「紳士服（同2.5%増）」、「婦人服（同4.0%増）」の催事企画の開催により、単価の高い秋冬物の売上が伸び、前年同月を上回りました。また、「食料品（同26.5%増）」は、前年に開催できなかった物産展の開催や、お歳暮ギフトセールを前倒したことなどから売上が伸び、前年同月を上回りました。「雑貨（同15.7%増）」は、売り場のリニューアル効果や、インバウンド需要の増加などにより前年同月を上回りました。



### ② 家電卸出荷額…家電卸出荷額は2ヵ月ぶりに前年同月を下回る。

家電卸出荷額は、テレビ、冷蔵庫、洗濯機の売れ行きが伸びず、2ヵ月ぶりに前年同月を下回りました（同3.8%減）。品目別では、「エアコン（同20.6%増）」は、前年に比べ気温が高く推移したことから、前年同月を上回りました。「冷蔵庫（同33.8%減）」、「洗濯機（同12.4%減）」は、前年に新型商品効果や販促効果により伸びた反動などから、前年同月を

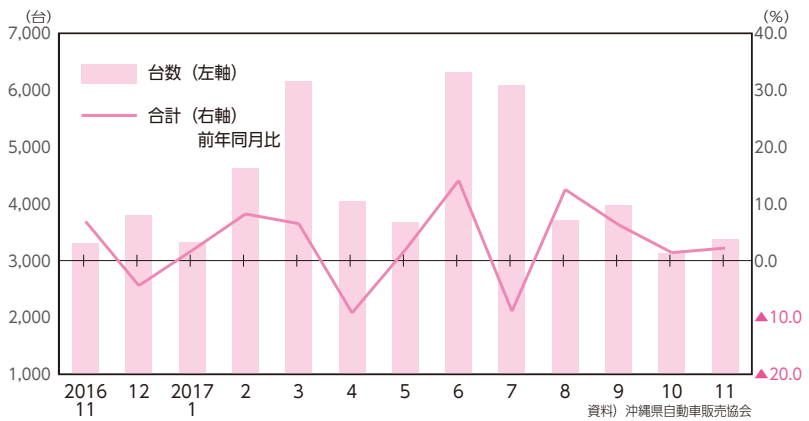


下回りました。「テレビ（同12.8%減）」は、高価格帯商品の売れ行きが伸びず、前年同月を下回りました。

### ③ 新車販売台数…新車販売台数は、4ヵ月連続で前年同月を上回る。

**新車販売台数**は、全体で3,375台（同2.2%増）となり、4ヵ月連続で前年同月を上回りました。車種別では、「小型乗用車（同8.4%減）」は、需要が伸びず、5ヵ月ぶりに前年同月を下回りました。一方、「普通乗用車（同11.8%増）」は、レンタカー需要の伸びなどにより、2ヵ月ぶりに前年同月を上回りました。「軽乗用車（同5.6%増）」は、軽自動車税増税の影響により落ち込んだ前年の反動から、9ヵ月連続で前年同月を上回りました。

※普通乗用車及び小型乗用車は登録ベース、軽乗用車は届出ベースの数値を合算。

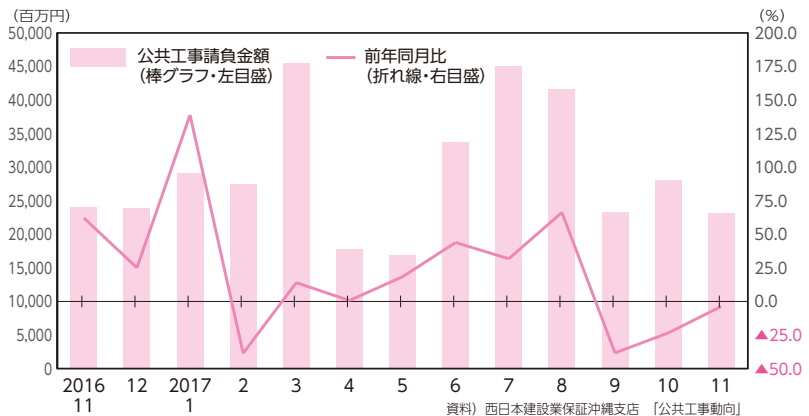


## 建設関連 (良い)

### ① 公共工事…公共工事請負金額は前年同月を下回る。

**11月の公共工事請負金額**は、前年同月比3.7%減の231億3,400万円となりました（3ヵ月連続減）。

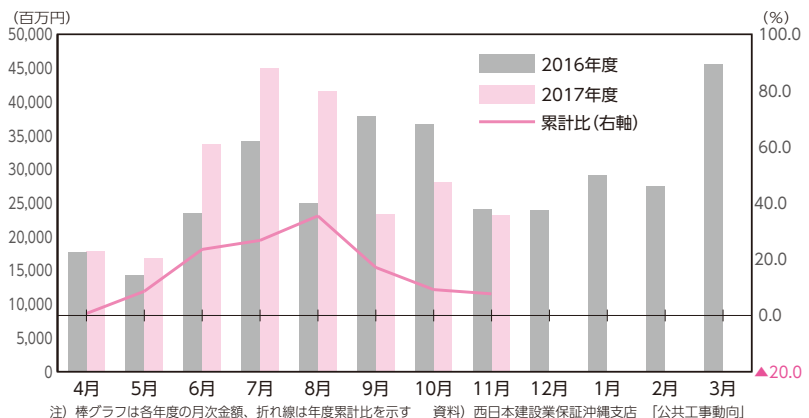
発注者別で見ると、「国（同237.4%増）」は那覇空港滑走路増設工事などの大型工事、「独立行政法人等（同863.2%増）」は水準が低かった前年同月を上回りました。一方で「沖縄県（同22.7%減）」は前年に大型工事が多かったこと、「市町村（同46.1%減）」は前年あった多良間村での製糖施設新築工事の反動、「その他の公共的団体（同65.1%減）」は前年あった那覇港総合物流センター（仮称）関連工事の反動などで前年同月を下回りました。



### 【参考】公共工事(年度累計)…公共工事請負金額は前年同期を上回る。

今年度4月～11月までの累計を前年度同期と比較すると、7.7%増となっています。

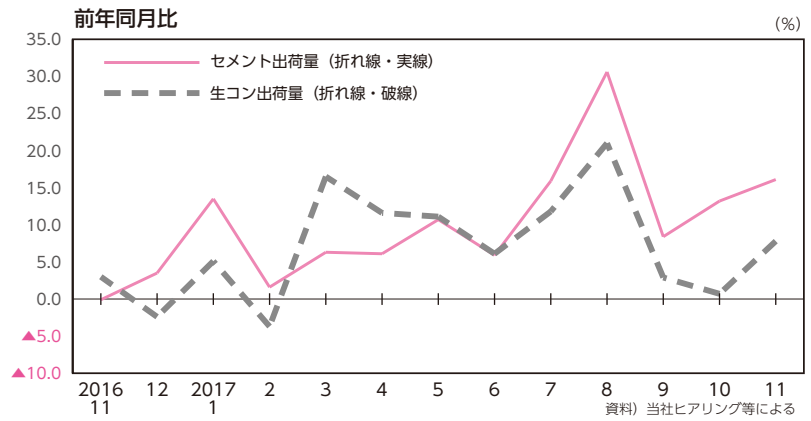
（右記折れ線グラフ）





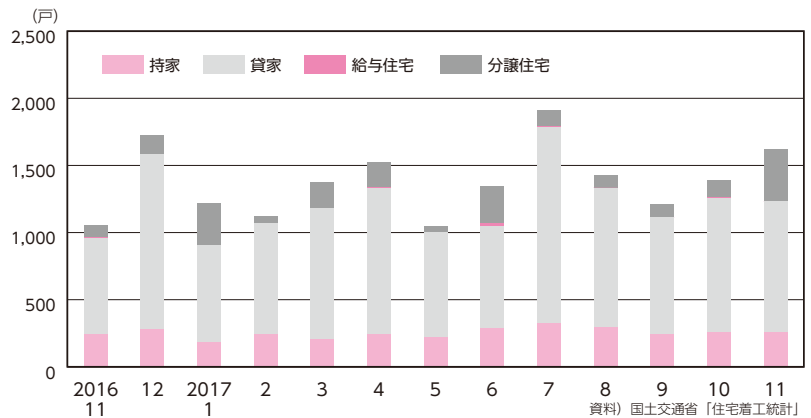
## ② 建設資材…生コン、セメントはともに前年同月を上回る。

**建設資材関連**では、生コンの出荷量は7.8%増と9ヵ月連続で前年同月を上回りました。内訳では、公共工事向け出荷が前年同月より14.1%上回り、民間工事向け出荷は4.4%上回りました。セメント出荷量は16.1%増と12ヵ月連続で前年同月を上回りました。



## ③ 住宅投資…着工戸数は前年同月を上回る。

**新設住宅着工戸数**は、全体で前年同月比53.3%増の1,620戸と3ヵ月ぶりに前年同月を上回りました。利用別戸数をみると、ウェイトの高い「貸家 (同35.7%増)」、「持家 (同7.4%増)」や「分譲住宅 (同314.9%増)」は前年同月を上回った一方で「給与住宅 (同100.0%減)」は下回りました。



## 【参考】住宅投資(年度累計)…着工戸数は前年同期を上回る。

年度累計で見ると、4.0%増となっています。(右記折れ線グラフ)

